



トピックス…①

米国の酪農マージン保障プログラム (DMC) の現状

米国では、「酪農家は多くの農村社会を支える背骨のようなもの」と評されることもあり、酪農経営の収益を守るため、従来からさまざまなセーフティネット政策が講じられている。ここでは、そのような政策の改善・拡充策の一つとして2019年に導入された酪農マージン保障プログラム (DMC) の現状を紹介する。

1. DMC導入の経緯

米国における酪農家戸数の急速な減少は、さまざまな要因が複合的に作用した結果であると言われているが、なかでも乳価安による利幅 (マージン) の縮小が酪農経営に大きなインパクトを与えた結果と考えられている。2015年以降の乳価低迷期は、酪農経営、とくに小規模な酪農経営にとって厳しい時期であった。

米国政府は2014年農業法において、酪農政策の (1) 価格支持から所得支持への移行、(2) 大規模酪農家への支援強化、(3) 国際市場での競争力の維持・拡大などの方向転換により、かねてより不満が多かった生乳収入損失補償契約プログラム (MILC) を廃止し、酪農マージン保護プログラム (MPP: Margin Protection Program) を導入した。これは乳価と飼料費の差額である酪農マージンに着目したセーフティネットであり、導入当初は歓迎された。しかし、補てんが発動されることは少なかったため酪農業界の不満が再燃した。

このような状況を背景に、同プログラムはより柔軟に発動されるよう2018年に改善がなされ、さらに2018年農業法において酪農マージン保障プログラム (DMC: Dairy Margin Coverage) として刷新された。2019年1月に施行されたDMCは、基本的な部分はMPPと同じ制度設計であるものの、補てんの発動要件が緩和され、かつ既存の家畜収入保険プログラム (Livestock Gross Margin) との同時加入も認められるようになるなど、セーフティネット政策としての機能が改善・拡充された (表1参照)。

2. DMCの運用実態

DMCは、全国平均乳価から飼料費を差し引いた額を酪農マージンとし、その額が酪農家各自で選択した「保障水準」(100ポンド (約45キログラム) 当たりのマージン) を下回った場合に、その一部を補てんするプログラムである (表2参照)。

表1に示したとおり、DMCにおける保障対象数量を決定する「保障率」は、MPPでは過去3年間のうち最大の年間生乳出荷量の25~90%の間で5%刻みにそれぞれの酪農家が選択できることとなっていたが、今回の変更 (DMC) では対象にできる割合が同5~95%に拡大された。

また、酪農マージンがどの程度低下した場合に補てんが発動されるかの基準となる「保障水準」は、MPPでは100ポンド当たり4.0~8.0ドルの間で0.5ドル刻みに各酪農家が選択できたが、DMCではその上限 (最高保障水準) が9.50ドルに引き上げられた (ただし、500万ポンド (2,265トン) 以下の部分に限る)。なお、500万ポンド以下の保障水準に8.50~9.50ドルを適用した場合、500万ポンドを超える分の保障水準は、8.00ドル以下から選択しなければならない。表3には、保障水準・保障対象数量別の生乳100ポンド当たりの保険料 (掛け金) を示した。

さらに、保険料 (掛け金) の単価が変更されたが、2019年の加入時に決定した保障内容 (保障率および保

表1 MPPからDMCへの主な変更点

| | Margin Protection Program (MPP) | Dairy Margin Coverage (DMC) |
|-----------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 保障率 | 25~90% | 5~95% |
| 保障水準 | 4.00~8.00ドル | 4.00~9.50ドル |
| 保険料単価の切替り | 400万ポンド | 500万ポンド |
| LGM-Dairyとの同時加入 | 不可 | 可 |
| 掛け金の減額 | - | 5年間同一条件加入で25%減額 |

資料：2019年1月24日 alic海外情報「新農業法でMPPが変更される (米国)」

表2 酪農マージン・補てん金額の算定式

| 酪農マージン | 補てん金額 |
|---|---|
| $= \text{全国平均乳価} \\ - (\text{トウモロコシ全国平均価格} \times 1.0728 \\ + \text{アルファルファ全国平均価格} \times 0.0137 \\ + \text{大豆粕イリノイ州中部価格} \times 0.0073)$ | $= (\text{各酪農家が選択した保障水準} \\ - \text{酪農マージン}) \\ \times (\text{登録した生産履歴} \times \text{選択した保障率}) \\ \div 12\text{か月}$ |

資料：2021年12月21日 alic海外情報「DMCの補助的措置と飼料費算出方法の改善を発表 (米国)」

表3 保障水準・保障対象数量別の保険料（掛け金）
単位：ドル/100ポンド

| | | 保障対象数量 | |
|------------------|--------|-----------|----------|
| | | 500万ポンド以下 | 500万ポンド超 |
| 保 障 水 準 | 4.00 | 無料 | 無料 |
| | 4.50 | 0.0025 | 0.0025 |
| | 5.00 | 0.0050 | 0.0050 |
| | 5.50 | 0.0030 | 0.1000 |
| | 6.00 | 0.0500 | 0.3100 |
| | 6.50 | 0.0700 | 0.6500 |
| | 7.00 | 0.0800 | 1.1070 |
| | 7.50 | 0.0900 | 1.4130 |
| | 8.00 | 0.1000 | 1.8130 |
| | 8.50 | 0.1050 | 選択不可 |
| 9.00 | 0.1100 | 選択不可 | |
| 9.50 | 0.1500 | 選択不可 | |

資料：USDA Farm Service Agency

障水準)を2023年までの5年間変更しないことを条件に、保険料の25%が減額されることとなっている。なお、2018年から毎月行われるようになった補てん発動の判断は、引き続き毎月実施される。

図1には、2019年1月以降のDMCプログラムにおける酪農マージン(milk margin)、全国平均乳価(milk price)、飼料費(feed cost)の推移を示している。なお、図中の点線は、酪農家を選択できる「保障水準」の上限(9.50\$/cwt)である。先に述べたように、酪農マージンが9.50\$/cwt以下であれば、酪農家各自が選択した「補償水準」に応じて補てん発動が可能となる。

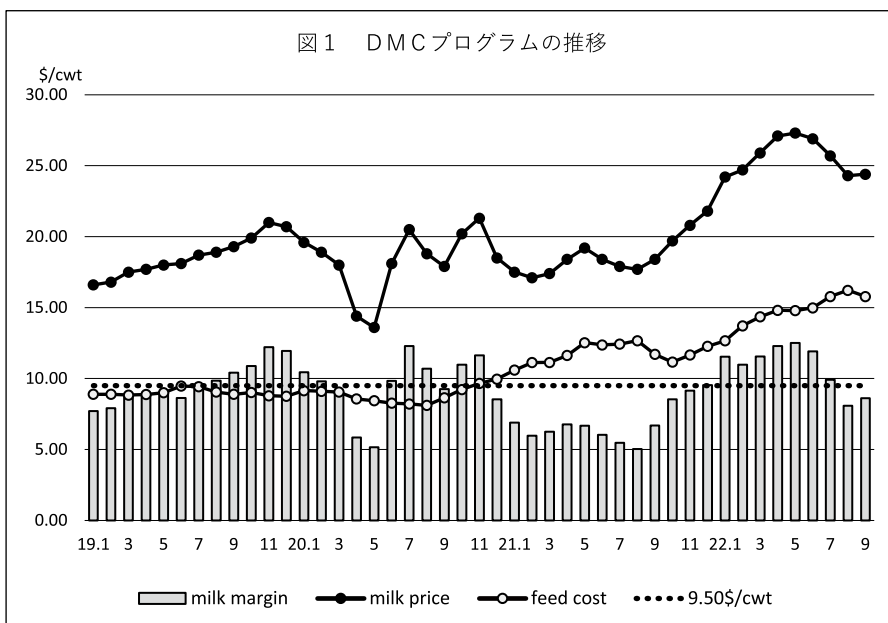
米国農務省(USDA/FSA)が毎月公表している「U.S. dairy situation at a glance」によると、2022年5月における全国平均乳価(総合乳価)は100ポンド(cwt)当たり27.30ドル(前年比42.2%高)で、4月の価格を同0.20ドル上回り、3月から3か月連続で過去最高を更新した。この結果、5月の飼料費が4月の14.81ドル/cwtから14.79ドル/cwtに2セント低下したと相まって、5月の酪農マージンは、12.29ドル/cwtから12.51ドル/cwtに0.22ドル/cwt増加し、DMCが2019年1月に施行されて以来最高水準となった。このため、2022年の残りの期間、酪農マージンが11ドル/cwtを下回ることはないと期待されていた。

しかし、USDA/FSAのウェブサイト上のDMC意思決定ツール

(Decision Tool)では、最近の乳製品価格の高騰が小売売上高と食品サービス需要の両方に打撃を与えていることによる全国平均乳価の下降傾向と、すでに高水準にある飼料費の高位安定傾向を踏まえて、年内の酪農マージンは10.00ドル/cwt以下で推移すると見込まれていた(表4参照)。

実際には、6月になると全国平均乳価は、5月の記録的な高水準から0.40ドル/cwt低下し、26.90ドル/cwtとなった。一方、飼料費は5月から0.19ドル/cwt上昇し、14.98ドル/cwtとなったため、6月の酪農マージンは0.59ドル/cwt減少し、11.92ドル/cwtとなった。続く7月の全国平均乳価は25.70ドル/cwtに低下、飼料費は15.78ドル/cwtに上昇し、酪農マージンは9.92ドル/cwtまで減少した。さらに8月になると、全国平均乳価は24.30ドル/cwt、飼料費は16.22ドル/cwtとなり、酪農マージンは酪農家を選択できる「保障水準」の上限(9.50\$/cwt)を下回る8.08ドル/cwtとなった。

9月になると、全国平均乳価が予測値を上回り前月の水準をわずかに上回る一方、飼料費が予測値を上回ったものの前月より低下したことによって、酪農マージンは前月より0.54ドル/cwt上昇し8.62ドル/cwtとなっている(図1参照)。しかし、飼料費を構成するトウモロコシ、アルファルファ、大豆粕の価格は引き続き高水準で推移しており、予断を許さない状況が続いている。



資料：USDA Farm Service Agency

注) milk margin = milk price - feed cost

表4 DMC意思決定ツール (Decision Tool) による予測結果

単位：\$/cwt

| | 全国平均乳価 (ALL MILK PRICR) | 飼料費 (FEED COST) | 酪農マージン (DMC MARGIN) |
|---------|----------------------------|--------------------|------------------------|
| 2022年9月 | 23.57 | 14.67 | 8.90 |
| 10月 | 23.69 | 14.20 | 9.49 |
| 11月 | 24.10 | 14.13 | 9.97 |
| 12月 | 23.93 | 13.93 | 10.00 |

資料：USDA Farm Service Agency

注) 予測値は2022年8月25日時点のもの